



— 滋賀の水環境ビジネスの取組について

平成26年度

滋賀県商工観光労働部商工政策課

①ベトナム科学技術アカデミー・環境技術研究所長らの部長表敬訪問

- 日時:平成26年4月11日(金)14:00~15:00
- 場所:商工観光労働部長室
- つくばの企業や機関との研究等で来日され、本県にも立ち寄っていただいた。
- 来訪者:ベトナム科学技術アカデミー/環境技術研究所(IET)
所長 Mr. Nguyen Hoai Chau
副所長 Mr. Nguyen Tran Dien
環境毒物分析室室長 Mr. Nguyen Quang Trung

②ベトナム関係機関への訪問・調査

- 出張期間:平成26年4月21日(月)~25日(金)
- 出張先:ベトナム ハイフォン市、ハノイ市
- 出張者:商工政策課職員 計2名 ※ベトナムプロジェクト検討チームの民間企業と共に実施
- 訪問先・面会者:
ハイフォン市人民委員会・天然資源環境局(およびその環境モニタリングセンター)
ハイフォン私立大学、食品加工工場(食品残渣から飼料を製造するための原材料を製造)
カットハイ地区人民委員会、青年部連合会、婦人連合会、排水処理施設、水上養殖場 ほか
- 実施内容:

ベトナムでのプロジェクトを進めていくために、現地政府や関係機関との関係構築をはかった。また、現地調査により、現地のニーズや環境の状態を把握した。



カットハイ地区人民委員会での意見交換



水上養殖場付近での水質調査

しが水環境ビジネス推進フォーラムの活動 H26年度ー2

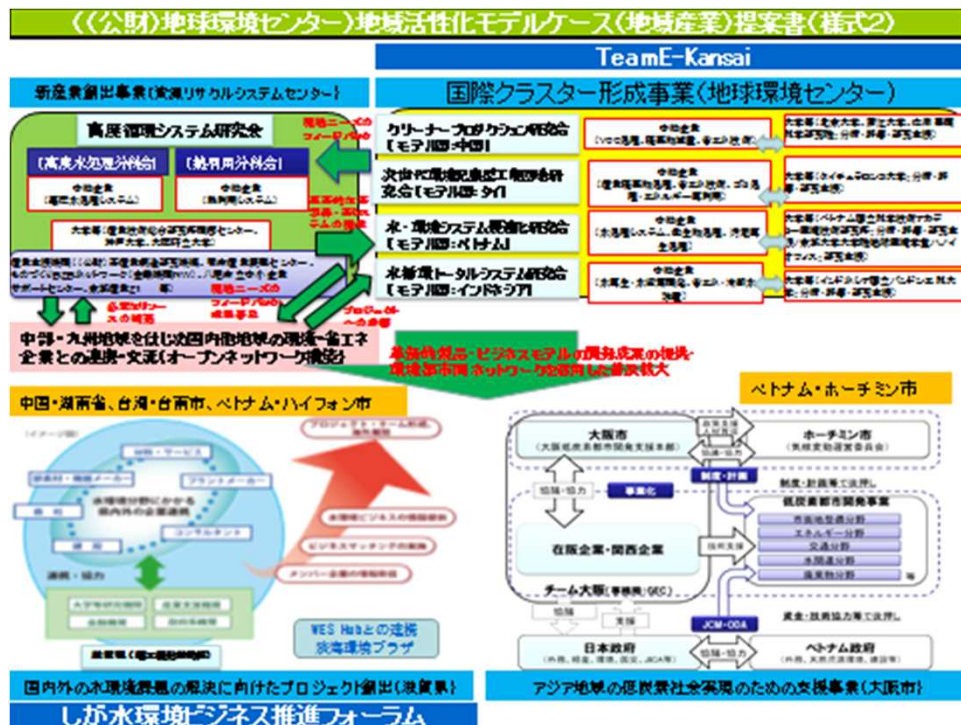
③「地域活性化モデルケース」(担当:内閣官房地域活性化統合事務局)に選定

- 事業名: 関西発! 環境・エネルギー分野におけるグローバルに通用する革新的な製品・ビジネスモデルの開発及び環境都市ネットワークを活用したアジアでの新ビジネス・新市場の創出
- 提案者: 公益財団法人地球環境センター(とりまとめ団体)
滋賀県、大阪市、特定非営利活動法人資源リサイクルセンター
- 選定状況: 応募135件、選定33件
※本事業は、「地域産業の成長・雇用の維持創出」の「産業集積型」で申請
(滋賀県は、水環境ビジネスの推進事業を上記の中に位置付け)

【参考】地域活性化モデルケースの概要

国の「地域活性化の推進に関する関係閣僚会合」において決定された「成長戦略改訂に向けた地域活性化の取組みについて」に基づき、成長戦略の改訂に向け、これまでの施策の成果が実感できない地方において、新たな活力ある地域づくりのためのビジョンを提供しその具体化を図るとされている。このため、地域が直面している2つのテーマ、

- ①「超高齢化・人口減少社会における持続可能な都市・地域の形成」、
 - ②「地域産業の成長・雇用の維持創出」
- について総合的に改革する取組みを行うモデルケースをそれぞれ選定し、今後各府省が現地で直接助言され、それぞれの取組に適した政策を総動員するとされている。



⇒日本再興戦略(改訂版)にも位置付け

④「水処理技術特別セミナー開催記念フォーラム」での報告

- 日時:平成26年5月28日(水) 10:30～16:30
- 場所:東京・大田区平和島 東京流通センター 会議室
- 主催:サイエンス&テクノロジー社
- テーマ:国内外における水ビジネスの現状とグローバル化への指針、水処理施設運営手法の未来
- 講演:
 - ①「世界の水ビジネスの現状と日本の戦略」(グローバルウォーター・ジャパン 吉村和就氏)
 - ②「水ing(株)における水ビジネスの現状と今後の取組」(水ing(株)海外事業部 松本直秀氏)
 - ③「産学官連携による水環境ビジネスの展開～しが水環境ビジネス推進フォーラムの取組および下水処理場の課題～」(滋賀県下水道課 斎野秀幸、商工政策課 望月敬之)
 - ④「上下水道事業における情報プラットフォーム構築～WBC(ウォータービジネスクラウド)のご紹介」(メタウォーター(株)取締役 経営企画本部長 中村靖氏)

⑤JICA草の根技術協力事業への申請 (採択の内定は8月頃)

- 事業名:ベトナムの観光島カットバの水環境改善に向けた協働体制づくりの協力支援
- 申請日:平成26年5月30日
- 提案者:滋賀県
 - 実施団体:(株)環境総合テクノス、(株)日吉の共同事業体
 - 協力機関:大阪府立大学、ILEC等
- 相手側:ハイフォン市天然資源環境局、カットハイ地区人民委員会
- 概要:対象地域であるカットバ島は、豊かな自然と独自の生態系が広がる観光の島である。カットバ島の主な産業は観光サービス業と水産業であり、これらの産業は近年急速な発展を見せる一方で、沿岸部の水環境が劣化し始めており、環境保全と経済発展を両立させた「グリーン成長」を図っていくことが課題である。このため、環境負荷低減のための施策の展開や行政、事業者、住民が一体となった取り組みが必要で、行政、住民、事業者一体となった協働体制の基盤整備を目指し、技術協力を行う。

⑥台湾・台南市政府および台湾企業(聯奇開發股份有限公司)へ訪問

- 日時:平成26年6月10日～12日
- 訪問先:台湾・台南市政府(經濟發展局、環境保護局、新聞及び国際関係科、秘書長)
聯奇開發股份有限公司 など
- 出張者:商工政策課職員2名
- 目的:平成26年10月に台南市で開催予定の環境フォーラムへの協力依頼
台湾・台南市の水環境課題についての意見交換
滋賀県企業との契約に関する状況把握 など



台南市政府との打合せ

⑦台湾企業(聯奇開發股份有限公司)の部長表敬訪問

- 日時:平成26年6月17日
- 場所:商工観光労働部長室
- 訪問者:聯奇開發股份有限公司 邱玲萱 氏
齊富興業有限公司 林政德 氏

⑧台湾汚水処理プロジェクト分科会の開催

- 日時:平成26年7月2日 13:30～15:00
- 場所:滋賀県大津合同庁舎7C会議室
- 出席者:22名



■内容:

- ・台南における取組について（特定非営利活動法人カーボンシンク 堤氏より）
- ・台南での環境フォーラム・企業交流会等の実施に向けて（フォーラム事務局 望月より）
- ・大阪商工会議所における台湾水・環境ビジネス支援事業の展開について（大阪商工会議所 福田氏より）
- ・台湾における水環境ビジネスの展開に関する情報交換、意見交換等
- ・「びわ湖環境ビジネスメッセin海外」について（びわ湖環境ビジネスメッセ実行委員会より）

⑨チーム台南の設立

- 日時:平成26年7月

■チーム台南とは:

平成26年から台湾・台南市における環境課題やニーズの調査をしている特定非営利活動法人カーボンシンクを中心として、メンバーへのメールでの情報提供、月1回ペースの会議の開催を行っている。台南市での事業化に向けて、台南市の状況を伝達し、検討する場である。

■会議の実施状況:

- ①平成26年7月2日、②平成26年7月30日、③平成26年8月28日、④平成26年9月25日
- ⑤平成26年10月15日、⑥平成26年11月28日、⑦平成27年1月8日

⑩JICAプロジェクト(イラン・ギラン州知事等の視察)への協力

■日時:平成26年8月5日

■場所:株式会社 日吉

■来県者:

ギラン州知事 ナジャフィ・モハマド・アリ氏

イラン環境庁副長官 ケイハ・アハマド・アリ氏

イラン環境庁自然環境局長 バゲルザデ・カリミ・マスード氏

イラン環境庁ギラン州事務所長 ボルジ・モハマド・レザ氏

イラン環境庁ギラン州事務所野生動物専門官 アミニ・ムーサ氏

■内容:

イラン・ギラン州はラムサール湿地に登録されているアンザリ湿原を管理。しかし、近年、下水・排水や廃棄物の流入、上流域からの土砂の流入等により環境が悪化。そこで、イラン・ギラン州は、JICAの協力のもと、その対策に取り組んでいるところ。

今回は、そのJICAプロジェクトの一環として、同州知事一行が来県され、8月2～5日の間、琵琶湖の先進事例を視察。そのプログラムの一つである「水環境ビジネス関係」については、当フォーラムメンバー企業である(株)日吉にて実施され、本県についても「滋賀県の水環境ビジネス」について説明を行った。



滋賀県の水環境ビジネスの説明



参加者

⑪JICA草の根技術協力事業の採択内定(平成26年5月にJICAに申請していたもの)

■採択内定日:平成26年8月11日

■事業の詳細:「しが水環境ビジネス推進フォーラムの活動 H26年度-3」参照

■今後の動き:

事業実施場所であるベトナムの現地行政機関とMOU(覚書)の締結等の手続き完了後、JICAと契約した上で、平成26年度中に事業を開始する。事業の終了は平成29年3月を予定。

■この件に関する報道発表

・中日新聞 (平成26年8月27日朝刊)

・京都新聞 (平成26年9月6日朝刊)

・毎日新聞 (平成26年9月17日夕刊)

・産経新聞 (平成26年10月1日)

・滋賀報知新聞 (平成27年1月1日)

その他、NHKの報道番組等、多数報道。

⑫環境省アジア水環境改善モデル事業の採択(フォーラムメンバー企業等による事業)

■事業名:ベトナム国水産加工工場における排水処理の水質と施設運営の改善事業

■実施地域:ベトナム国ダナン市

■主提案者:株式会社環境総合テクノス

※共同提案者として、クラレアクア株式会社、株式会社日吉、大阪府立大学

■事業内容:

ベトナム国ダナン市において、水産加工工場の排水処理施設にクラゲール(微生物固定化担体PVAゲル)を導入し、水質改善および汚泥の減量化を図ると共に、排水処理管理技術の指導を行い施設運用管理の改善を図る。

⑬ベトナム関係機関への訪問・調整（JICA草の根技術協力事業関係）

- 出張期間：平成26年9月17日～20日
- 出張先：ベトナム ハイフォン市、ハノイ市
- 出張者：商工政策課職員 1名 ※事業共同実施者の企業等と共に
- 訪問先：
 - ベトナム国家大学ハノイ校
 - ハイフォン市天然資源環境局
 - ハイフォン市人民員会
 - JICAベトナム事務所
- 内容：

JICA草の根技術協力事業の採択内定を受け、今後の事業実施に向けて、事業共同実施者と共に現地を訪問し、下記ベトナム側関係機関との協議・調整（JICA事業の採択内定通知、事業内容の説明、MOU締結に向けた調整、今後の予定の確認等）を行った。



ハイフォン市天然資源環境局との協議



ハイフォン市人民委員会との協議

⑭台湾における汚水処理・水環境改善プロジェクト 現地技術交流事業

■内容:

水環境ビジネス推進の一環として、現地で行われる水環境フォーラムに、県内企業等と参加して広く技術交流を図るとともに、現地の市政府や関連施設への訪問を行い、情報・意見交換、ビジネスの創出、提案などを行った。

■日時:平成26年10月6日～10日

■訪問先:

- ・国際グリーン産業見本市(台北)
- ・財団法人中興工程顧問社(台北)
- ・行政院環境保護署(台北)
- ・台南市政府(新聞及び国際関係処、水利局、経済発展局)
- ・樹谷園工業区(台南)
- ・柳営科技工業区(台南)
- ・台湾国際水展「AQUA TAIWAN」(高雄)

■訪問メンバー:

NPO法人カーボンシンク、大洋産業(株)、日本ソフト開発(株)、高橋金属(株)、積水塑膠管材股份(有)、滋賀県環境保全協会、(株)リ・クープ、県庁、齊富興業(有)(通訳・随行) 以上9企業・団体等15名



水環境フォーラム



台南市政府との情報・意見交換



柳営科技工業区の排水処理施設視察

⑮びわ湖環境ビジネスメッセ2014

特設ゾーン「しが水環境ビジネス推進プロジェクト」の設置

- 開催期間：平成26年10月22日（水）～24日（金）
- 場所：滋賀県立長浜ドーム
- 過去最多の316企業・団体が出展。来場者35,940人
- 特設ゾーン「しが水環境ビジネス推進プロジェクト」では、フォーラムメンバーの9企業・団体が出展。
ワンフォオール(株)、三和産業(株)、(株)日吉、木村電気(株)、ダイヤアクアソリューションズ(株)、
中島商事(株)、(株)山久、滋賀バルブ協同組合、(有)服部エンジニアリング（順不同）
- フォーラムブースでは、滋賀の水環境ビジネスの取組や滋賀県のこれまでの琵琶湖保全の取組などを紹介。



「しが水環境ビジネス推進プロジェクト」ゾーン



フォーラムブース

⑩「第6回しが水環境ビジネスセミナー」の開催

■日時:平成26年10月23日(木)13:30～17:00

■場所:長浜バイオ大学 命北館大講義室2

■プログラム:

①ベトナムにおける水処理課題の現況と海外水ビジネスの展望

(講師:京都大学大学院地球環境学堂助教 原田英典 氏)

②台南市における水環境課題と解決へ向けた技術ニーズ

(講師:特定非営利活動法人カーボンシンク 堤幸一 氏)

③ベトナムの水環境改善事業へのチャレンジ

(講師:株式会社環境総合テクノス 沖森泰行 氏)

④JICAと地方連携

(講師:JICA関西次長 高田裕彦 氏)

⑤世界の水環境ビジネスとJICAの役割

(講師:JICA上級審議役 山田順一 氏)

⑥名刺交換会

■参加者:137名

■フォーラムメンバーの(株)淡海ミネラルウォーターサービス様より製品「いわまの甜水」をご提供いただきました



しが水環境ビジネスセミナーの様子

(株)淡海ミネラルウォーターサービス様の製品「いわまの甜水」

⑰台湾・台南市政府の来県

- 日時:平成26年10月23日
- 訪問先:びわ湖環境ビジネスメッセ 他
- 訪問者:
台南市政府水利局 チーフエンジニア 黄文彦氏 他

⑱JICA研修への協力

- 日時:平成26年10月24日
- 場所:びわ湖環境ビジネスメッセ フォーラムブース
- JICA研修の一環として、インド、ケニア、コートジボアール等の国の方々がびわ湖環境ビジネスメッセを視察。JICAからの依頼を受け、当フォーラムも、滋賀の水環境ビジネスの取組や滋賀県のこれまでの琵琶湖保全の取組などを紹介。

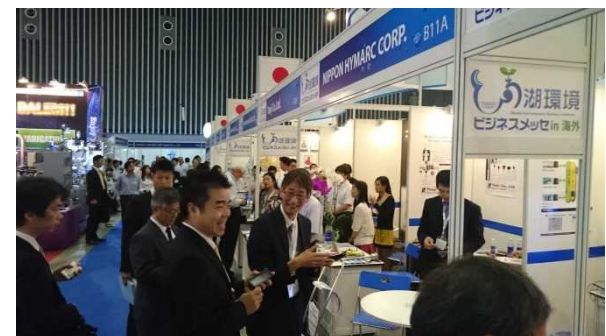
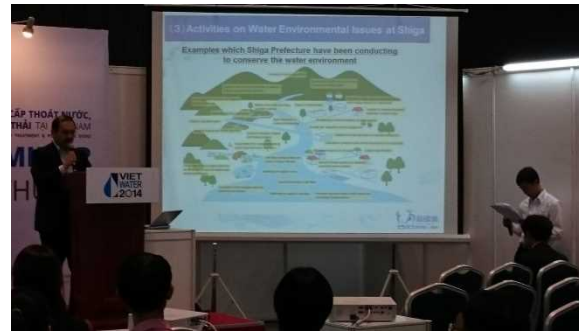
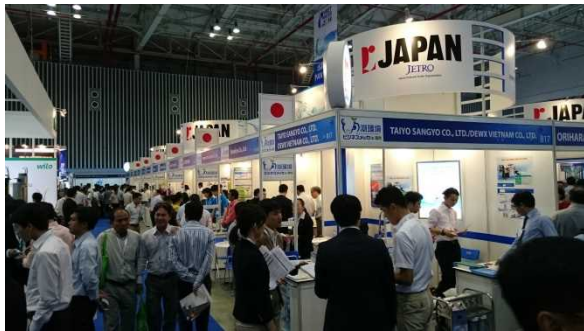


⑱「VIETWATER2014」へ出展

- 開催期間:平成26年11月12日(水)～14日(金)
- 場所:サイゴン展示会議場(ベトナム・ホーチミン市)
- 規模:出展は、32か国、300企業・団体。3日間で約9000人の来場。
- 内容:

TEAM E-KANSAIとして、近畿経済産業局(地球環境センターに委託)、大阪商工会議所との共同で出展。滋賀の水環境ビジネスの取組や観光のPRを行った。

また、これにあわせて、企業プレゼン、ネットワーキングカフェ、ベトナム商工会議所・現地進出企業との交流会も実施。ネットワーキングカフェでは、近畿経済産業局によるTEAM E-KANSAIの取組概要説明「JICAベトナム事務所による「ホーチミン周辺の環境関連事業の取組」「JICAの中小企業支援の取組」、ホーチミン市輸出加工区・工業団地局による「ホーチミン市工業団地における環境基準、ホーチミン市内の排水処理状況について」といった講演。その後、参加者の交流を深めるための交流懇親会。



⑳ベトナム関係機関への訪問・調整（JICA草の根技術協力事業関係）

- 出張期間：平成26年11月16日（日）～19日（水）
- 出張先：ベトナム ハイフォン市（カットバ島）
- 出張者：商工政策課職員 1名 ※事業共同実施者の企業等と共に
- 訪問先：

ハイフォン市天然資源環境局

カットハイ郡人民委員会（カットハイ郡人民委員会青年団・婦人連合会とも協議）

カットバ島の排水処理施設2施設およびニョクナム工場

- 内容：

JICA草の根技術協力事業の採択内定を受け、今後の事業実施に向けて、事業共同実施者と共に現地を訪問し、上記ベトナム側関係機関との協議・調整を行った。



ハイフォン市天然資源環境局との打合せ



カットハイ郡人民委員会との打合せ



青年団・婦人連合会との打合せ

②1びわ湖放送番組でのフォーラムの取組・メンバー企業の紹介

■日時:平成26年11月24日22:55～23:00

■番組名:「エール！～滋賀でがんばる企業を応援します～」

■内容:

滋賀県では、企業や県民に対して滋賀の産業・雇用の施策についてわかりやすく紹介し、関心を高めてもらうことを目的として、広報番組を制作・放送。番組では、“ちいさな企業”を応援する滋賀県の施策を、いきいきとした県内企業等の様子を通じて紹介。

放送第8回目のテーマは、「滋賀の水環境ビジネス～琵琶湖で育んだ知恵と技術～」。滋賀のこれまでの琵琶湖保全の取組や当フォーラムについて紹介し、フォーラムメンバー企業である高橋金属(株)様からは製品等をご紹介いただきました。

②2「韓国 水環境産業セミナー」(第7回しが水環境ビジネスセミナー)を開催

■日時:平成26年12月18日(木)14:00～16:00

■場所:滋賀大学 大津サテライトプラザ 会議室
(JR大津駅前 日本生命大津ビル4階)

■滋賀大学リスク研究センターとの共催

■内容:

・開会挨拶、第7回世界水フォーラムの概要

(講師:滋賀大学経済学部教授/リスク研究センター長 久保英也氏)

・「韓国水環境産業と水環境企業の現状と課題」

(講師:滋賀大学経済学部准教授 金秉基氏)

・「韓国における水環境産業工業団地造成と日本企業に望むこと」

(講師:韓国啓明大学校環境学部助教授/大邱水環境産業工業団地諮問委員 Bae Hunkyun氏)

・講師の方との個別相談会

■参加者:25名



⑳③ベトナム天然資源環境省・ベトナム国家大学等の来県

- 日時:平成26年12月19日
- 場所:滋賀県大津合同庁舎
- 別件で来日のところ、琵琶湖や琵琶湖モデルについて知りたいとの要望があり、来県された。商工政策課および下水道課より、滋賀県の琵琶湖保全の取組などについて説明。
- 来訪者:
 - ベトナム天然資源環境省 フン氏
 - ベトナム国家大学ハノイ校 PHAM NGOC LAN氏
 - 大阪府立大学 特認教授 前田泰昭氏
 - 株式会社 日吉 黄氏 他2名



⑳④ベトナム関係機関への訪問・調整(JICA草の根技術協力事業関係)

- 出張期間:平成26年12月21日(日)～24日(水)
- 出張先:ベトナム ハイフォン市、ハノイ市
- 出張者:商工政策課職員 2名 ※事業共同実施者の企業と共に
- 訪問先:
 - ハイフォン市計画投資局
 - ハイフォン市外務局
 - ハイフォン市天然資源環境局
 - ベトナム国家大学ハノイ校
 - 日本大使館
 - ベトナム建設省
- 内容:

JICA草の根技術協力事業の採択内定を受け、今後の事業実施に向けて、事業共同実施者と共に現地を訪問し、上記ベトナム側関係機関との協議・調整を行った。

②5 Inter Aqua2015へ『フォーラムパビリオン』として出展

- 開催期間：平成27年1月28日(水)～30日(金)
- 場所：東京ビッグサイト
- 「フォーラムパビリオン」には、フォーラムメンバーの5企業が出展。
(有)服部エンジニアリング、(株)アオヤマエコシステム、ダイヤアクアソリューションズ(株)、東レテクノ(株)、(株)日吉 (順不同)
- フォーラムブースでは、滋賀の水環境ビジネスの取組や滋賀県のこれまでの琵琶湖保全の取組などを紹介。
- 出展企業からの声：「今後のビジネスにつながる商談が多かった」



⑳ベトナム・カットバ島でのキックオフミーティング、現況把握調査

(JICA草の根技術協力事業関係)

- 出張期間：平成27年3月16日(月)～23日(月)
- 出張先：ベトナム ハイフォン市
- 出張者：商工政策課職員 2名 ※事業共同実施者の企業等と共に
- 内容：JICA草の根技術協力事業に関するJICAとの正式契約を受け、現地にて、キックオフミーティングおよび現況把握調査を実施。

《キックオフミーティング》

- ・挨拶
- ・講演「琵琶湖保全の経験を生かしたカットバ島の水環境改善に向けて」
- ・プロジェクト概要説明

《現況把握調査》

- ・市場、排水処理施設、ニョクナム工場、ホテル、水上生活者、水上レストラン、カットハイ郡人民委員会(観光文化室、教育関係部署、婦人連合会、小学校、青年団)、廃棄物埋立処分場、ハイフォン市DONRE、事業者団体、トゥンディン湖について、視察およびヒアリングを実施。



キックオフミーティングでの記念撮影



市場でのヒアリング